

No. 1245

江川、クラウン指名

江川卓（法大）一色にぬりつぶされた'77年のプロ野球ドラフト会議。11月22日、東京九段のホテルグランドパレスで注目の抽選会が行なわれた。指名順一番を得たクラウンライターは、迷わず江川を指名した。記者会見で江川は、「ドラフトの一番で指名を受け、ありがたいと思つている。指名を受けてから決めようと思つていたので、今から親や船田さんと相談して決めたい。クラウンはいいチームだと思つている」と語つた。

オモチャ考

デパートのオモチャ売場は日曜日ともなると親子づれで賑わう。近頃のオモチャは増々高価になり、こつたものになって来た電気仕掛のゲームマシン、ラジコンカー、人気漫画の主人公入りのオモチャなどが主流。そしてケーキを焼くことや、洗濯のできる本物そっくりのオモチャまである。しかし、こうしたオモチャが一担故障すると大人でもなかなか直せない。そこで故障したオモチャを修繕する「オモチャの病院」が全国各地に誕生した。東京のあるデパートに設置された「オモチャの病院」日曜日には親子づれに大もて、1日平均15.6人が訪れるという。持ち込まれるオモチャはラジコンカー、動くロボットなど精密なものばかり、現代のオモチャについて院長である門馬さんは「子供にオモチャを与える場合はよく考えてほしい。すぐに高級なオモチャを与えず木を切ったり紙を折ったりして作るオモチャから与えてほしい」という。

昔なつかしいメンコ、ベーゴマなどを売っている東京四谷の駄菓子屋さん。十円玉を握りしめた子供たちで賑わっている。この店を経営するのは飛鳥さん。彼はグラフィックデザイナーだったがオモチャのおもしろさにひかれてこの店を始めたのだという。店の前でベーゴマのまわし方やポンポン船の構造や原理を身をもって教えている。飛鳥さんは、「紙のオモチャを引っぱったり水にぬらしたら破れるなど材質感を子供が身を持って知ることが大事です。これは子供の情操に大切なことです」と語る。次から次へと増々精密化するオモチャ、もう一度問い直す必要がありそうだ。